

# 根なし山のすべり面

Fault plain of Klippe

地球の窓探索コース



青倉川のもこう岸に見える大断層は、大崩山をはじめとする根なし山の大きな岩体が、緑色片岩の上をずり動いたときのすべり面です。

上盤の跡倉層の砂岩や泥岩の下面には、断層運動でずり動いたときにこすれてできた条線があって、移動の方向をしめています。

下盤は、緑色岩が押しつぶされ、ぐしゃぐしゃに破壊されていて、一部は蛇紋岩になっています。

この断層の走行・傾斜は場所により変化しますが、ここでは走行N70°W 傾斜25°の低角度で北に傾いています。

この断層は、200m下流にみられるフェンスターとともに、根なし山をつくる大きな岩体が、遠くからずり動いてきたことをしめす貴重な露頭です。



断層面に見られる条線